全学共通教育プログラム

地域産業イノベーション学
コミュニティ再生ケア学

手引き2019

千葉大学

目次 …… 1
概要 …… 2
地域産業イノベーション学とは …… 3
地域産業イノベーション学の修了証書取得要件 …… 4
コミュニティ再生ケア学とは …… 5
コミュニティ再生ケア学の履修証明書取得要件 …… 6
履修方法（履修開始から修了証書／履修証明書取得までの流れ） …… 7

普遍教育科目　2019指定科目
- 地域と暮らし（地域コア） …… 8
- 講義・体験型 …… 9
- PBL・実習型 …… 13

専門教育科目　2019指定科目
- 地域産業イノベーション学 …… 17
- コミュニティ再生ケア学 …… 19

他大学指定科目
- 敬愛大学指定科目の履修方法／放送大学指定科目の履修方法 …… 21

敬愛大学「エアポートNARITA地域産業学」 …… 22
履修方法・学び方 …… 23
Q&A …… 25
オフィス案内（アクセス） …… 26

地域の“未来”づくりのため、
課題発見・解決力、実践力、コミュニケーション力を鍛える

地域産業イノベーション学
コミュニティ再生ケア学

「地域産業イノベーション学」「コミュニティ再生ケア学」は、学生の皆さんの主専攻である各学部での専門性を持ちながら、地域産業・イノベーションや地域・コミュニティに関する幅広い教養と、地域再生の知識、実践力を身に付ける全学共通教育プログラムです。ゆくゆくは、学生の皆さんが、NPOや大学、自治体、企業などの立場から地域産業をイノベーションしたり、地域再生のために活躍できる人材となることを目指しています。

修了証書／履修証明書

地域産業イノベーション学　**コミュニティ再生ケア学**　**を学んだ証明**

「地域産業イノベーション学」と「コミュニティ再生ケア学」は、普遍教育科目と学部の専門教育科目を横断する全学共通教育プログラムです。普遍教育科目では、教養コア科目、教養展開科目の中に、それぞれのプログラムを構成する科目が指定されています。取得要件で定められている単位を修得した学生に対して、地域産業イノベーション学は「修了証書」を、コミュニティ再生ケア学は「履修証明書」を発行します。

副専攻（マイナー）プログラム		サーティフィケートプログラム	
地域産業イノベーション学	30単位※	コミュニティ再生ケア学	23単位※

**普遍教育と専門教育を横断する全学共通教育プログラムにより、
課題発見力、課題解決力、実践力、コミュニケーション力を築きます。**

普遍教育科目

- **地域と暮らし（地域コア）（必修）**
- **講義・体験型科目 教養展開**
- **PBL・実習型科目 教養展開（地域コア関連）**

地域づくり、地域産業、イノベーションの基礎・理論、地域と地域再生の基礎・理論、スキル、体験を学ぶ

＋

専門教育科目

所属学部・他学部の指定する専門教育科目
すべての学生が履修できる全学共通科目があります

※単位数・証明書の違い：地域産業イノベーション学は副専攻（マイナー）プログラムで30単位を必要とし、コミュニティ再生ケア学はサーティフィケートプログラムで23単位を必要とします。
この違いにより証明書も異なります。

地域産業イノベーション学とは

千葉大学は、2015年度の文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択され、「都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業」※を開始しました。「地域産業イノベーション学」は、この事業の一環として、2016年度より設置された副専攻（マイナー）プログラムで、修了証書取得要件で定められている単位を修得した学生に修了証書を発行しています。

学びの特徴

地域とは何か、地域産業の課題や展望はどのようなものか、それらに新しい価値を付けて産業振興するにはどのようなアプローチが考えられるかなど、「自らがイノベーションを興す力」を身に付ける副専攻（マイナー）プログラムです。

わたしたちが目指すのは、ローカルの未来づくり

産業振興のプロフェッショナル　**地方創生のスペシャリスト**

職業イメージ（例）

公務員	地域と向き合う地方公共団体の産業振興部門	シンクタンク	地域再生や地方創生の政策提言
6次産業化プランナー	産業のニーズに応じたアドバイスやビジネス提案	コンサルタント	産業イノベーションの企画や計画
地域企業	地域で活躍する企業を活性化	研究者	理論系、政策系、現場研究系で後押し
ベンチャー起業	6次産業や新観光等を自ら創業し雇用を創出	まちづくり会社	NPOや組織で活躍

ほしい未来を自分でつくる！

※「都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業」とは

千葉県は人口が流入する都市圏と、人口が流出する地方圏に二分されており、東京への一極集中によって地方圏では若年層の人口減少や地域産業の衰退が引き起こされています。そこで、千葉大学では、千葉地方圏の自治体や企業と協働し、学生にとって魅力ある職づくりと地域に定着するための教育プログラム開発を目的とした「都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業」を開始しました。本事業は、大学や都市の研究シーズを地方に還流し、千葉県内の大学、自治体、企業等の連携によって、地域産業にローカル・イノベーションを興す「ローカル・イノベーション集積タウン」を形成することを目標としています。取り組みの拠点として、専任教員と協力教員で構成されたコミュニティ・イノベーションオフィス地域イノベーション部門を設置しました。また、重点モデル地域には、ローカルハブを設置し、PBL学習や産業振興の拠点として活用しています。

● 地域産業イノベーション学の修了証書取得要件

副専攻（マイナー）プログラムの修了証書の取得要件は、各学部の卒業要件として修得しなければならない単位数とは異なります。「修了証書の取得要件表」に定められた科目区分に属する科目を、取得要件に応じて30単位取得することが必要です。

修了証書の取得要件表

科目種別					必要単位数	備　考
普遍教育科目	必修	講義型	地域と暮らし	8ページ	1	地域に関する必修科目です。普遍教育教養コア（地域コア：地域と暮らし）科目に該当します。
	選択	講義・体験型	地域づくりを学ぶ	9ページ	4〜10	地域づくりに関する基礎的な科目です。普遍教育教養展開地域コア関連科目および敬愛大学・放送大学開講科目に該当する科目があります。
			千葉を知る	10ページ	2〜4	千葉に関する基礎的な科目です。普遍教育教養展開科目および敬愛大学開講科目に該当する科目があります。
			産業イノベーションを考える	10ページ	4〜10	産業やイノベーションに関する基礎的な科目です。普遍教育教養展開科目および敬愛大学・放送大学開講科目に該当する科目があります。
			スキルを学ぶ	12ページ	2〜6	地域づくりや産業イノベーションに資するスキル取得のための科目です。普遍教育教養展開科目および敬愛大学・放送大学開講科目に該当する科目があります。
		PBL・実習型	PBL（プロジェクト・ベースト・ラーニング）	13ページ	4〜8	地域産業イノベーションに関するプロジェクトベース・実習型の科目です。普遍教育教養展開地域コア関連科目に該当する科目があります。
			カレッジリンク・プログラム	15ページ		
			地域活動体験	16ページ		
			インターンシップ	16ページ		
専門教育科目			地域産業イノベーションに関する専門内容	17ページ	2〜10	各学部の専門科目に該当する科目があります。
修了証書取得要件					計30単位	

（注意）入学年度が2015年以前の学生は、必修「地域と暮らし（地域コア）」の1単位を除く計30単位の取得が必要です。

修了証書

地域産業イノベーション学の修了証書は、地域産業の未来をつくる人材として活躍するための知識を得た証明として、千葉大学が必要単位を修得した学生の皆さんに発行するものです。卒業時に、学位記とともに取得できます。また、3年次終了までに取得要件を満たしている場合は、「取得見込証明書」を発行します。

履修案内

地域産業イノベーション学を構成する授業科目の履修は、原則として、その科目が属する科目区分での履修方法に準じます。そのため、授業の履修にあたっては、『Guidance 2019』またはその科目が開講されている学部の『履修案内』を確認してください。

コミュニティ再生ケア学とは

千葉大学は、2013 年度の文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」に採択され、「クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学」を開始しました。「コミュニティ再生ケア学」は、このプログラムでの一環として 2015 年度から設置されたサーティフィケートプログラムで、履修証明書取得要件で定められている単位を修得した学生に履修証明書（サーティフィケート）を発行します。

学びの特徴

地域とは何か、地域の中の様々な課題や問題にはどのようなものがあるか、どのような解決事例があるかなど、「自らが地域の課題を具体的に解決する力」を身に付けるために必要な基本的な考え方を学ぶサーティフィケートプログラムです。

わたしたちが目指すのは、地域の未来をつくる

地域志向のプロフェッショナル

地域志向のプロフェッショナルの職業イメージ（例）

- 公務員：地域と向き合っているのは地方公共団体。
- 医療・福祉従事者：地域医療、介護、看護で安心・安全を。
- エンジニア：エンジニアリングの技術を地域活性で生かす。
- 教員：子どもの頃から地域に関する関心をもたせる。
- 地域企業：地域でふんばる企業で地域を活性化する。
- 企業人：大手企業もCSRで地域に関わる。

CSR：Corporate Social Responsibility（企業の社会的責任）

地域づくりのスペシャリスト

地域づくりのスペシャリストの職業イメージ（例）

- シンクタンク コンサルタント：地域分析し、地域づくりの企画・計画を作成。
- 地域・都市づくり：サステイナブルな都市づくりを進める。
- 研究者：理論系、政策系、現場研究で後押しする。
- CB／SB起業：地域課題を解決する非営利組織を自ら起業。
- まちづくり会社／NPO：まちづくり・地域づくりの組織で活躍する。

CB：Community Business　SB：Social Business

イメージ通りの仕事がなければ、自分でつくる！

2016年度新設 地方創生コースについて

人口が減少し疲弊しはじめている地方を創生するためには、「雇用創出」「地方への新しいひとの流れ」「時代に合った地域づくり」「出会い・結婚・出産・子育て」などの取り組みが求められ、そのための広範な知識と取り組みを進めるための力が必要になります。そのような知識や、力を身に付けるために必要な考え方を学ぶために、コミュニティ再生ケア学の科目で構成される「地方創生コース」を2016年度から新設（必要単位数：23単位）しました。地方創生コースの履修を選択した場合、「コミュニティ再生ケア学 地方創生コース」の履修証明書が発行され、「コミュニティ再生ケア学」の履修証明書は発行されません。地方創生コースの指定科目は、科目一覧において「地方創生コース指定された科目に○印」で記載されています。

コミュニティ再生ケア学の履修証明書取得要件

コミュニティ再生ケア学の履修証明書の取得要件は、各学部の卒業要件として修得しなければならない単位数とは異なる取得要件が設定されており、下表の「履修証明書の取得要件表」に定められた科目種別に属する授業科目を、取得要件に応じて23単位取得することが必要です。コミュニティ再生ケア学は、普遍教育科目の「講義型」「講義・体験型」「PBL・実習型」、専門教育科目からなります。

履修証明書の取得要件表

科目種別					必要単位数	備考
普遍教育科目	必修	講義型	地域と暮らし	8ページ	1	地域・コミュニティに関する必修科目です。普遍教育教養コア（地域コア：地域と暮らし）科目に該当します。
	選択	講義・体験型	地域（再生）の基礎を学ぶ	9ページ	4〜10	地域・コミュニティに関する基礎的な科目です。普遍教育教養展開地域コア関連科目に該当する科目があります。
			地域（再生）に関する多様な分野を学ぶ	10ページ	2〜4	地域・コミュニティに関する基礎的な科目です。普遍教育教養展開科目と放送大学開講科目に該当する科目があります。
			地域（再生）に資するスキルを学ぶ	12ページ	2〜4	地域・コミュニティに関わるためのスキル取得のための科目です。普遍教育教養展開科目に該当する科目があります。
		PBL・実習型	PBL（プロジェクト・ベースト・ラーニング）	13ページ	2〜6	地域・コミュニティに関わるプロジェクトベース、実習型の科目です。普遍教育教養展開地域コア関連科目に該当する科目があります。
			カレッジリンク・プログラム	15ページ		
			地域活動体験	16ページ		
			インターンシップ	16ページ		
専門教育科目			地域（再生）に関する専門内容	19ページ	6	各学部の専門科目に該当する科目があります。
履修証明書取得要件					計23単位	

（注意）入学年度が2014年以前の学生は、必修「地域と暮らし（地域コア）」の1単位を除く計23単位の取得が必要です。

履修証明書

コミュニティ再生ケア学の履修証明書は、地域の未来をつくる人材として活躍するための知識を得た証明として、千葉大学が必要単位を修得した学生の皆さんに発行するものです。卒業時に、学位記とともに取得できます。また、3年次終了までに取得要件を満たしている場合は、「取得見込証明書」を発行します。

履修案内

コミュニティ再生ケア学を構成する授業科目の履修は、原則として、その科目が属する科目区分での履修方法に準じます。そのため、授業の履修にあたっては、『Guidance 2019』またはその科目が開講されている各学部の『履修案内』を確認してください。

履修方法（履修開始から修了証書／履修証明書取得までの流れ）

STEP 1
4月/10月

「地域産業イノベーション学／コミュニティ再生ケア学 手引き」を入手

各プログラムの指定科目は、開講状況等により変更されることがあります。各年度の冊子を手に入れ、履修を進めましょう。
冊子はコミュニティ・イノベーションオフィスで配布している他、WEBページからPDF版をダウンロードすることもできます。

STEP 2
4月/10月

履修計画を立て、「修了証書／履修証明書の取得申請・登録」と「各科目の履修登録」をする

各プログラムの内容と取得要件を確認してください。
指定されている科目一覧から、卒業までに必要な単位数を修得する計画を立ててください。

●地域産業イノベーション学／コミュニティ再生ケア学の履修登録

在学中に各プログラムの修了証書または履修証明書を取得する場合は、事前に履修登録が必要です。関連する情報の取得や相談等を受けられるようになります。

履修登録の方法　履修登録は「千葉大学Moodle※」を用いて行います。

コースカテゴリ ▶ 全学共通教育プログラム ▶ 地域産業イノベーション学
コミュニティ再生ケア学

ガイダンスで提示する登録キーを入力し、簡単な質問に回答すると、登録が完了します。
登録キーは「地域産業イノベーション学／コミュニティ再生ケア学」履修ガイダンス（26ページ）でお知らせします。

履修登録期間　前期：2019年4月8日～5月31日
後期：2019年10月1日～11月30日
※Moodleの利用方法は、「千葉大学Moodle利用ガイド（学生版）」を読んでください。

●それぞれの科目の履修登録

授業科目の履修登録は、各自、通常のウェブ登録で行ってください。
ただし、一部の集中科目はウェブ登録をしないため、履修ガイダンス（26ページ）に参加して手順を確認してください。
学部専門教育科目の履修登録については担当教員に相談してください。

STEP 3
1年次～4年次

履修計画に沿って履修

地域産業イノベーション学　30単位
コミュニティ再生ケア学　23単位

STEP 4
学部卒業時

修了証書／履修証明書の申請

各プログラムの修了証書または履修証明書の取得を希望する学生は、卒業年次の所定の期間に認定申請（12月頃）を行ってください。
認定申請の方法については、後日MoodleまたはWEBサイトに掲載予定です。

STEP 5
学部卒業時

修了証書／履修証明書の取得

各プログラムの取得要件を満たし、かつ所定の申請手続きを行った学生は、
卒業時に修了証書（地域産業イノベーション学対象）
または履修証明書（コミュニティ再生ケア学対象）を取得できます。

最新情報はWEBサイトで確認してください。

http://cocp.chiba-u.jp/education/index.html

注記
○履修科目登録単位数の上限設定及び早期卒業を実施している学部がありますので、詳細は所属学部で確認してください。
○「修了証書取得要件表」または「履修証明書取得要件表」の各科目種別の単位数を合計しても、修了証書または履修証明書取得要件の総単位数とは一致しません。
これは、科目種別ごとの履修単位には選択の自由があり、個人によって取得要件の満たし方が異なるためです。
○コミュニティ再生ケア学では、2014年度以前の入学生は、2014年度の指定科目（12 科目、9ページ参照）が単位認定されます。

普遍教育科目 2019 指定科目

掲載内容に変更が生じる場合もありますので、「Guidance 2019」および掲示板等で適宜ご確認ください。

地域と暮らし（地域コア） 2019年度 1年次生対象

教養コア科目（地域コア：地域と暮らし）

地域産業イノベーション学　1単位
コミュニティ再生ケア学　1単位

地域とは何か、地域の中にはどのような課題や問題があるか、どのような解決事例があるかなど、自らが社会の一員として、地域の様々な課題を知り、具体的な解決方法を学びます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類	イノベ学	ケア学	地方創生コース
団地再生まちづくり	1	T4	木4	国	鈴木 雅之	1ZE小(算理心も)中養T化・環M	地コ	○	○	○
地域の地学的背景を知る	1	T4	木4	理	宮内 崇裕			○	○	○
チームで取り組む地域活動入門	1	T4	木4	病	竹内 公一・他			○	○	○
市民参加・協働のまちづくり	1	T4	木4	社	関谷 昇			○	○	○
健康都市・空間デザイン論	1	T4	木5	予	花里 真道	1E小(国社教)専英特幼S		○	○	○
まち・ひと・しごと創生	1	T4	木5	未	阿部 厚司			○	○	○
地域づくりと地方の再生	1	T4	木5	園	齋藤 雪彦			○	○	○
環境共生まちづくり	1	T4	木5	工	田島 翔太			○	○	○
大学と地域の共創まちづくり	1	T5	月1	工	上野 武	1LHP		○	○	○
地域振興とデザイン	1	T5	月1	工	植田 憲			○	○	○
学校・大学と地域社会	1	T5	月1	国	白川 優治			○	○	○
都市環境の生態系デザイン	1	T5	月1	国	永瀬 彩子			○	○	○
地域とNPOの社会学	1	T5	火2	人	清水 洋行	1T電・情,建・デN		○	○	○
地域づくりとアートマインド	1	T5	火2	教	神野 真吾			○	○	○
地域に住まう	1	T5	火2	工	豊川 斎赫			○	○	○
地域課題対応ワークショップ	1	T5	火2	未	岡山 咲子			○	○	○
地方の地域づくり	1	T5	木5	国	和田 健・他	1BT機・物		○	○	○
3共(共住・共助・共生)時代の地域と住まいづくり	1	T5	木5	工	丁 志映			○	○	○
超高齢社会と対策	1	T5	木5	予	藤田 伸輔			○	○	○
ホリスティック地域学入門	1	T5	木5	国	鈴木 雅之			○	○	○

講義・体験型

● 地域づくりを学ぶ　地域産業イノベーション学　4-10単位

● 地域（再生）の基礎を学ぶ　コミュニティ再生ケア学　4-10単位

地域・コミュニティに関する基礎的な科目です。地域とは何か、地域にはどのような課題や問題があるか、どのような解決事例があるかなどを学びます。自らが地域の課題を解決する力を身に付けるために必要な基本的な考え方を学びます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類	イノベ学	ケア学	地方創生コース
地域の再生	1	T1	木4	国	鈴木 雅之		地	○	○	○
共生環境のまちづくり1	1	T1	水4	工	樋口 孝之		地	○	○	○
共生環境のまちづくり2	1	T2	水4	工	樋口 孝之		地	○	○	○
地域を共につくる	1	T1	火2	工	佐藤 公信		地	○	○	○
人口減少時代と地域	1	T2	火4	工	田島 翔太・他		地	○	○	○
地方創生を語る	1	T2	木4	国	鈴木 雅之		地	○	○	○
地方創生の実務現場B	1	T5	金4	社	小川 真実		キャ	○		
地方創生の実務実習	2	T3	集中	社	小川 真実	1年次～3年次まで	キャ	○		
ソーシャルラーニングI	1	T1-6	集中	教	下永田 修二・他		キャ	○		
地域で仕事をおこす・入門篇	1	T2	水2	人	伊丹 謙太郎		キャ	○		
地域で仕事をおこす・実践篇A	1	T3	集中	人	伊丹 謙太郎		キャ	○		
地域で仕事をおこす・実践篇B	1	T3	集中	人	伊丹 謙太郎		キャ	○		
世界遺産のまちから学ぶ～佐原の大祭とまちづくり（千葉県香取市）～	1	T2	水2	社	関谷 昇		学	○		
千葉の地域を知る1	1	T4	木2	国	鈴木 雅之		地		○	○
千葉の地域を知る2	1	T5	木2	国	鈴木 雅之		地		○	○
地域における起業を語る	1	T5	火4	工	田島 翔太		地		○	○
千葉県の産業	1	T2	木2	工	田島 翔太		地		○	○

コミュニティ再生ケア学 2014年度開講科目の読み替え

2014年度にコミュニティ再生ケア学の一部授業を開始しました。2015年度からのコミュニティ再生ケア学の単位認定にあたっては、右記のように単位認定します。ここに示された以外の科目で、2014年度以前に開講された科目は単位認定されません。

2014年度開講科目名	単位数		2015年度科目種別
地域再生学	2	▶	「地域（再生）の基礎を学ぶ」科目/「地域（再生）に関する多様な分野を学ぶ」科目として認定
超高齢社会と地域	2		
地域の中のキャンパスづくり	2		
観るということ	2		
郊外コミュニティ学	2		
減災福祉コミュニティ入門	2		
サイエンスとアートのコミュニケーション	2		
廃校小学校に大学をつくる	2	▶	PBL科目として認定
「まち点検」ー小学校と防犯まちづくり実践	2		
スポーツによるコミュニティづくり	2		
減災まちづくり入門	2	▶	カレッジリンク・プログラム科目として認定
地域活動体験	2	▶	地域活動体験科目として認定

● 千葉を知る　地域産業イノベーション学　2-4単位

千葉に関する基礎的な科目です。千葉の地域の概要だけでなく、課題やポテンシャルについて様々なテーマで考えます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類	イノベ学	ケア学	地方創生コース
千葉の地域を知る1	1	T4	木2	国	鈴木 雅之		地	○		
千葉の地域を知る2	1	T5	木2	国	鈴木 雅之		地	○		
千葉県の産業	1	T2	木2	工	田島 翔太		地	○		
ひととみどりをつなぐ	2	T1-6	集中	園	三島 孔明・他	松戸開講	環	○		

● 産業イノベーションを考える　地域産業イノベーション学　4-10単位

● 地域（再生）に関する多様な分野を学ぶ　コミュニティ再生ケア学　2-4単位

地域産業・地域・コミュニティについてそれぞれの課題や解決方法を具体的に学び、自らがそれらの課題を解決する力を身に付けるために必要な基本的な考え方を学びます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類	イノベ学	ケア学	地方創生コース
地域における起業を語る	1	T5	火4	工	田島 翔太		地	○		
地域ベンチャー起業論	1	T4	火4	工	田島 翔太		地	○		
科学技術の発達と生命倫理 A	1	T1	水5	予	藤田 伸輔		論	○		
科学技術の発達と生命倫理 B	1	T2	水5	予	藤田 伸輔		論	○		
現代医学	1	T1	金3-4	医	小林 欣夫	1年次生のみ	生	○	○	
製品デザイン論	2	T4-5	木2	工	UEDA EDILSON SHINDI		文	○		
緑と食の環境問題	2	T4-5	水5	園	小林 達明	松戸開講 遠隔授業	環	○	○	○
世界の中の日本、日本の中の世界	1	T5	月2	国	崎山 直樹		国	○		
グローバル人材育成と留学	1	T1	金5	未	織田 雄一		国	○	○	○
日本人の国際倫理	1	T2	月3	国	崎山 直樹		国	○		
実務家によるキャリア・デザイン入門 A	1	T1	金4	社	小川 真実		キャ	○	○	○
実務家によるキャリア・デザイン入門 B	1	T4	金4	社	小川 真実		キャ	○	○	○
実務家によるキャリア・デザイン演習 B	1	T6	集中	社	小川 真実		キャ	○	○	○
バイオエナジー入門	1	T6	集中	国	高垣 美智子	海外協定校の学生とのワークショップ形式	環	○		

● 産業イノベーションを考える　● 地域（再生）に関する多様な分野を学ぶ

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類	イノベ学	ケア学	地方創生コース
インクルーシブ・ビジネス入門	1	T3	集中	国	永瀬 彩子	海外協定校の学生とのワークショップ形式	地	○	○	○
フード・システム・サービス・デザイン入門	1	T6	集中	国	永瀬 彩子	海外協定校の学生とのワークショップ形式	地	○		
地域の中のキャンパスづくり	1	T1	水2	工	上野 武		地		○	
伝統文化をつくるA	2	T1-2	月4	人	柴 佳世乃・他		地		○	
伝統文化をつくるB	2	T4-5	月4	人	柴 佳世乃・他		地		○	
伝統文化をつくるC	2	T1-6	集中	人	柴 佳世乃・他	A、Bを履修した学生	地		○	
伝統文化をつくるD	2	T1-6	集中	人	柴 佳世乃・他	A、B、Cを履修した学生	地		○	
アーティストと展示をつくる	2	T4-5	集中	教	神野 真吾		地		○	
アートコミュニケーション	2	T1-6	集中	教	神野 真吾		地		○	
アートをつくるⅠ	1	T1	水2	教	加藤 修		地		○	
アートをつくるⅡ	2	T4-5	集中	教	加藤 修		地		○	
アートをつくるⅢ	1	T1	集中	教	加藤 修	アートをつくるⅡ履修者	地		○	
アートをつくるⅣ	2	T4-5	集中	教	加藤 修	アートをつくるⅡ履修者	地		○	
カフェをつくるⅠ	2	T1-2	月3	＊	西田 直海		地		○	
カフェをつくるⅡ	2	T4-5	月3	＊	西田 直海		地		○	
スポーツ・マネージメント	1	T2	火3	教	下永田 修二		地		○	
環境をデザインする	1	T1	水2	工	佐藤 公信		文		○	○
ひととみどりをつなぐ	2	T1-6	集中	園	三島 孔明・他	松戸開講	環		○	○
生きるを考える1	1	T4	火3	看	眞嶋 朋子		生		○	
生きるを考える2	1	T5	火3	看	眞嶋 朋子		生		○	
市民社会ー被災地支援とボランタリズムー1	1	T4	月1	社	関谷 昇		キャ		○	○
市民社会ー被災地支援とボランタリズムー2	1	T5	月1	社	関谷 昇		キャ		○	
非営利市民事業と協同組合A	1	T4	金3	人	伊丹 謙太郎		キャ		○	
非営利市民事業と協同組合B	1	T5	金3	人	伊丹 謙太郎		キャ		○	
地方創生の実務現場B	1	T5	金4	社	小川 真実		キャ		○	○
地方創生の実務実習	2	T3	集中	社	小川 真実	1年次～3年次まで	キャ		○	○
ソーシャルラーニングⅠ	1	T1-6	集中	教	下永田 修二・他		キャ		○	
地域で仕事をおこす・入門篇	1	T2	水2	人	伊丹 謙太郎		キャ		○	○
地域で仕事をおこす・実践篇A	1	T3	集中	人	伊丹 謙太郎		キャ		○	○
地域で仕事をおこす・実践篇B	1	T3	集中	人	伊丹 謙太郎		キャ		○	○

● スキルを学ぶ …… 地域産業イノベーション学 2-6単位

● 地域（再生）に資するスキルを学ぶ …… コミュニティ再生ケア学 2-4単位

地域産業・地域・コミュニティの課題や問題を解決するために修得しておいた方がよいスキルがあります。在学中に学ぶことで、社会に出て活躍するまでの期間を短縮できます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類	イノベ学	ケア学	地方創生コース
経済学C1	1	T1	水4	園	小林 弘明	松戸開講・B以外	論	○		
経済学C2	1	T2	水4	園	小林 弘明	松戸開講・B以外	論	○		
経済学D1	1	T1	月5	＊	落合 勝昭	A総B以外	論	○		
経済学D2	1	T2	月5	＊	落合 勝昭	A総B以外	論	○		
実務家による金融基礎知識	2	T1-2	火3	社	大鋸 崇	寄附講義	論	○		
プレゼンテーション演習（ワークショップ）	1	T4	火4	統	全 へい東		リ	○	○	○
プレゼンテーション演習（実践）	1	T5	火4	統	全 へい東		リ	○	○	○
思考とコミュニケーションのプラクティス1	1	T4	火4	＊	永本 義弘		リ	○	○	○
思考とコミュニケーションのプラクティス2	1	T5	火4	＊	永本 義弘		リ	○	○	○
対人コミュニケーション演習1	1	T1	木2	＊	堂山 智子	1年生対象	リ	○	○	○
対人コミュニケーション演習2	1	T2	木2	＊	堂山 智子	1年生対象	リ	○	○	○
文献との対話	1	T4	月2	人	竹内 比呂也・他		リ	○	○	○
文章表現演習Ⅰ	1	T1	木3	国	佐藤 尚子	1年生対象	リ	○	○	○
文章表現演習Ⅱ	1	T2	木3	国	佐藤 尚子	1年生対象	リ	○	○	○
大学生のためのライティング基礎（1）	1	T1	水5	人	石井 正人	1年生対象	リ	○	○	○
大学生のためのライティング基礎（2）	1	T4	水5	人	石井 正人	1年生対象	リ	○	○	○
大学生のためのプレゼンテーション基礎（1）	1	T2	水5	人	石井 正人	1年生対象	リ	○	○	○
大学生のためのプレゼンテーション基礎（2）	1	T5	水5	人	石井 正人	1年生対象	リ	○	○	○
デザイン・シンキング入門	1	T3	集中	千	渡邉 誠・他	海外協定校の学生とのワークショップ形式	キャ	○	○	○
統計学A（4）（展開）	2	T1-2	金1	＊	澁谷 幹夫	文系 共通専門基礎科目と同時開講	自	○		
統計学A（5）（展開）	2	T4-5	月3	＊	櫻井 太朗	文系 共通専門基礎科目と同時開講	自	○		
統計学A（8）（展開）	2	T4-5	金1	理	阿部 佳宏	文系 共通専門基礎科目と同時開講	自	○		
情報科学概論A	1	T4	水1	理	松元 亮治		自	○		
情報科学概論B	1	T5	水1	理	松元 亮治		自	○		
会計学B1	1	T4	火2	社	善積 康夫	A経総B以外	論	○		
会計学B2	1	T5	火2	社	善積 康夫	A経総B以外	論	○		
芸術学A	1	T1	水3	教	神野 真吾		文		○	○
芸術学B	1	T2	水3	教	神野 真吾		文		○	○
地域ベンチャー起業論	1	T4	火4	工	田島 翔太		地		○	○

PBL・実習型

地域産業イノベーション学 4-8単位
コミュニティ再生ケア学 2-6単位

PBL（プロジェクト・ベースト・ラーニング）

地域や産業に関わる実践型の科目です。具体的なプロジェクトを通して、それぞれの課題や問題に取り組みます。活動のテーマやプロジェクトの企画について、学生の皆さんが自ら提案し、事業計画、活動計画を立てて実践します。一連の授業を通して、地域再生、地域産業にイノベーションを興す専門人材として何ができるかを学習します。なお、履修については、講義型科目を通じて地域づくりや地域産業について基礎的な知識を身に付けた2年次以降を推奨しています。これを「グラデーション定着学習」と呼んでいます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類	イノベ学	ケア学	地方創生コース
ローカル・プロジェクト実習A	2	T1-6	集中	国	鈴木 雅之		地		○	○
ローカル・プロジェクト実習B	2	T1-6	集中	工	田島 翔太		地		○	
ローカル・プロジェクト実習C	2	T1-6	集中	未	阿部 厚司		地	○		
ローカル・プロジェクト実習D	2	T1-6	集中	工	田島 翔太		地	○		
文化をつくる	2	T1-6	集中	教	神野 真吾		地		○	
コミュニティにおけるスポーツ・イベント運営の実践	2	T1-6	集中	国	小泉 佳右		地	○	○	○

グラデーション定着学習

「グラデーション定着学習」とは、学生の皆さんが地域に徐々に定着し活躍するように、年次（ステップ）ごとに地域と関わっていく濃度を変える仕組みです。例えば、以下のようなステップが考えられます。

STEP 1 — 1年次
地域づくりや地域再生に関する講義（座学）を履修し、基礎的な知識を身に付けます。

STEP 2 — 2年次
地域での1〜2日の体験学習やワークショップに参加し、短期間のPBL型学習に取り組みます。

STEP 3 — 3年次
夏季休暇や空いているタームを使って、地方公共団体、NPO、地元企業などでの研修やプロジェクト実習に参加し、地域をより深く学びます。

STEP 4 — 4年次
これまで得た経験や知識をもとに、自ら地域で具体的な取り組みにチャレンジします（チャレンジワーク）。

● 科目紹介

ローカル・プロジェクト実習A	地域の中心としてのサテキャン（サテライトキャンパス）を舞台に、地域再生の観点から、大学としてどうあるべきかを考えます。その上で、学生としてサテキャンをどのように活かせるかを考え、プロジェクトの企画を立てます。プロジェクトに自ら主体的に関わることで、地域再生のあり方を体験的に学習します。
スポーツによるコミュニティづくり	地域社会が持つニーズ（コミュニティが抱える問題の解決や志向性）に対して、スポーツを通して果たすために、スポーツイベントを企画・運営します。企画・運営作業を通して、スポーツの文化性及び地域社会のあり方について考えるとともに、イベントプロデュース力を養います。スポーツの社会的及び文化的価値を学習し、スポーツが現代社会の問題を解決するための意義や方法論を探ることができます。地域社会が持つニーズを把握し解決に向かい、それに対してより深い知識で対応できる力を養います。
文化をつくる	前半は、アーティストやクリエイターによる複数のワークショップに参加し、アートの視点やクリエイティブな協働のあり方について体験的に学びます。その後は千葉市美術館やアーティストと連携しながら、地域の中で様々な活動を展開していきます。

カレッジリンク・プログラム

カレッジリンク・プログラムとは、大学（カレッジ）と地域社会が組織的に連携（リンク）し、年齢に関わらず地域の誰もが大学でともに学びあう機会を創出する新しい学習プログラムです。この科目では、市民と学生が一緒に受講し、地域の課題や問題を自分たちで考えるだけでなく、他人とディスカッションすることで客観的かつ俯瞰的にものごとを捉える能力を身に付けます。※詳しくは4月実施の合同履修ガイダンスで説明します。日時は26ページで確認してください。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類	イノベ学	ケア学	地方創生コース
カレッジリンク@千葉	2	T1-6	集中	国	鈴木 雅之		地	○	○	○
カレッジリンク@ローカルA	2	T1-6	集中	国	鈴木 雅之		地	○		
カレッジリンク@ローカル B	2	T1-6	集中	工	田島 翔太		地	○		
カレッジリンク@柏	2	T4-5	集中	柏	野田 勝二		地		○	○

● 科目紹介

カレッジリンク@柏

『千葉大学柏の葉カレッジリンク・プログラム』は柏の葉キャンパスの環境健康フィールド科学センターが実施している公開講座と千葉大学の授業とを一体化したもので、2009年に開講してから10年が経過し、地域に根付いてきました。市民の修了生は地域のコミュニティーで活躍したり、大学と一緒に街づくりに貢献するための社団法人を設立して活動しています。プログラムの内容は環境、健康、農、食をキーワードにして地域が抱える課題の解決方法や、街づくりのコンセプトの提案を行うものとなっており、毎年複数のコースが用意されます。プログラムの回数は各コース5回の授業と全コース合同で行う発表会を合わせた6回で、地域の市民と共に学び、意見交換しながら、課題解決方法やコンセプトの提案をつくりあげていきます。

カレッジリンク@千葉

授業は、千葉と松戸で学生と市民とが月1回、講義とグループワークを通して、地域づくりに自ら働きかけ、行動する基礎力を養っています。過年度には、日常や地域をそれまでとは異なるクリエイティブな視点から捉えられるようになるためのプログラムを実施しました。講師として、芸術学や心理学を専門とする教員のほか、料理や音楽に関わるデザイナーやアーティストの方々をゲストとして招き、身近な物事に対する新しい眼差しや発想を体験的に楽しみながら学びました。

カレッジリンク@ローカル（旧カレッジリンク@千葉B）

千葉の地方圏を対象とした合宿型の授業です。地方を訪れて、地域のポテンシャルを見つけ、課題解決のための企画を地域住民と一緒に学び、提案します。これまで横芝光町と長柄町で実施し、地方創生ゲームの考案や、地域のブランディングを学びました。

▶ 2019年度コースの詳しい内容はガイダンスまたはWEBサイトで確認してください。

地域活動体験／インターンシップ／グローバルボランティア

地域活動体験やインターンシップ研修を通して、体験的に地域社会の課題やニーズを知り、取り組みの意味を理解します。また、活動体験を通じて、地域に対する自分の可能性を発見します。※詳しくは4月実施の合同履修ガイダンスで説明します。日時は26ページで確認してください。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類	イノベ学	ケア学	地方創生コース
地域活動体験1	1	T1-6	集中	国	鈴木 雅之・他		地	○	○	○
地域活動体験2	1	T1-6	集中	国	鈴木 雅之・他		地	○	○	○
地域志向型インターンシップA	2	T1-6	集中	工	田島 翔太		地	○	○	○
地域志向型インターンシップ B	2	T1-6	集中	工	田島 翔太		地	○	○	○
グローバルボランティア（地域）	2	T1-6	集中	工	田島 翔太		キャ	○	○	
グローバルボランティア事前学習（1）	1	T2	木6	国	佐々木 綾子		キャ	○	○	○
グローバルボランティア事前学習（2）	1	T2	金5	国	佐々木 綾子		キャ	○	○	○

● 科目紹介

地域活動体験1・2

地域づくりに携わるNPO等にボランティアとして参画し、地域活動や市民団体の役割とその実践について学びます。そして、地域づくりのためにできることや、地域づくりの担い手に必要なことを具体的に掘り下げ、理解を深めます。地域活動を体験することで、地域づくりについての理解を深め、その後の勉学への取り組み方を発見します。単位取得にはNPO等で25時間以上のボランティア活動が求められます。また、事前学習、中間報告、事後学習への参加が義務付けられます。派遣先の候補として、地域で都市生活者向けに農業体験を実施している団体や、移住・定住に取り組む団体等があります。

地域志向型インターンシップA・B

自治体や企業等における地域づくりに関わる就業体験を通して、地域づくりに関連した知識や理解を深めるとともに、将来の職業選択における自らの適性や能力を考えます。また、組織・団体等の実態に触れることにより、就業時のミスマッチを防ぎます。単位取得には自治体・企業・団体等で40時間以上のインターン研修が求められます。また、事前学習、中間報告、事後学習への参加が義務付けられます。派遣先の候補として、地方創生に取り組む自治体の関係部署等があります。

グローバルボランティア（地域）

派遣先のうち、特に国際交流に関連する団体で活動します。授業内容は「地域活動体験1・2」と同じですが、「グローバルボランティア事前学習」の履修が必須となります。詳しくはガイダンスで説明します。

▶ 2019年度コースの詳しい内容はガイダンスまたはWEBサイトで確認してください。

専門教育科目 2019 指定科目

各学部の専門科目に地域産業イノベーション学／コミュニティ再生ケア学の指定科目が置かれています。
各学部がそれぞれのプログラムの趣旨に合う科目を指定しています。全学共通科目では、他学部の学生も履修することができます。

地域産業イノベーション学 …… 2-10単位

専門教育の指定科目には、すべての学生が履修できる全学共通科目と、所属学部の学生のみが履修できる所属学部生限定科目があります。科目ごとに履修条件等が異なりますので、履修の際は注意してください。合計10単位までが修了証書取得要件の単位として認定されます。

● 全学共通科目

すべての学部の学生が履修できる科目です。ただし、受け入れ人数など条件がある場合があるので、各学部のシラバスなどを確認し、必要に応じて担当教員に相談してください。

文学部

授業科目	担当教員
人文学地域フィールドワークb	久保 勇
人文科学の課題：地域を知るb	久保 勇
環境社会学 a	米村 千代
環境社会学 b	米村 千代
ユーラシア言語文化論演習 b	児玉 香菜子
人文科学の課題：地域を知るc	中川 裕・他

法政経学部

授業科目	担当教員
産業組織論Ⅰ	岸本 信
産業組織論Ⅱ	岸本 信

園芸学部

授業科目	担当教員
バイオエンジニアリング	彦坂 晶子
ポストハーベスト工学	椎名 武夫
農産食品工学	小川 幸春・他
食品衛生学	江頭 祐嘉合・他
食品製造実習	園田 雅俊
園芸療法論	岩﨑 寛
環境健康学実習Ⅰ	三島 孔明・他
環境健康学実習Ⅱ	三島 孔明・他
地域再生計画学	齋藤 雪彦
農村計画学	木下 勇
風景計画学	古谷 勝則・他
緑地福祉学	岩﨑 寛
フードシステム学	櫻井 清一
食品産業組織論	石田 貴士
比較農業環境論※	高垣 美智子

※2019年度開講せず、2020年度開講

薬学部

授業科目	担当教員
薬剤師と地域医療	佐藤 信範・他

● 所属学部生限定科目

所属学部の学生のみが履修できる科目です。

国際教養学部

授業科目	担当教員
国際教養学入門	小澤 弘明・他
人文社会科学基礎	泉 利明
自然科学基礎	串田 正人・他
現代日本論	見城 悌治
現代日本課題演習	和田 健・他
プレゼンテーションメソッド	吉野 文
質的調査法Ⅱ	福田 友子
量的調査法Ⅱ	白川 優治
フィールド・スタディⅡ	高垣 美智子・他
地域ＰＢＬ型実習Ⅱ	鈴木 雅之
工業デザイン	渡邉 誠
製造業とサービス	渡邉 誠
コミュニケーションデザイン	Paskevicius Algirdas
クールジャパン論	池田 忍・他
日本の食文化	和田 健
ポピュラーカルチャー論	石井 正人
地方創生論	清水 洋行
地方創生マネジメント	鈴木 雅之
現代家族論	米村 千代
千葉学	見城 悌治
経済政策と科学技術	神里 達博
映像表現技術	田中 緑
ビッグサイエンス	河合 秀幸
地域医療	山口 智志
健康科学論	小泉 佳右
サイエンスコミュニケーション論	永瀬 彩子
サイエンスカフェ	三野 弘文
技術移転論	中原 秀登
地域ＰＢＬ型実習Ⅲ	福田 友子
持続的地域貢献活動実習Ⅰ	白川 優治・他
サービスデザイン	渡邉 誠
イノベーションデザイン	渡邉 誠
コンテンツ産業とデザイン	Paskevicius Algirdas
プロモーションデザイン	Paskevicius Algirdas
千葉資源開発	和田 健
地域ＰＢＬ型実習Ⅳ	永瀬 彩子
防災・減災社会構築論	上野 武
人口減の社会論	白川 優治
高齢化と医療	山口 智志
持続的地域貢献活動実習Ⅱ	白川 優治・他

法政経学部

授業科目	担当教員
経営学総論Ⅰ	中原 秀登
経営学総論Ⅱ	中原 秀登

園芸学部

授業科目	担当教員
地域看護学	宮崎 美砂子・他

医学部

授業科目	担当教員
医療情報経済学	鈴木 隆弘
地域医療実習(公衆衛生学実習)	尾内 善広

看護学部

授業科目	担当教員
訪問看護学概論	諏訪 さゆり・他
訪問看護実習	諏訪 さゆり・他
社会資源と看護マネジメント	諏訪 さゆり・他
訪問看護統合実習	諏訪 さゆり・他
地域看護学概論	石丸 美奈・他
地域看護方法	石丸 美奈・他
老人看護学概論	正木 治恵・他
地域看護統合実習	石丸 美奈・他
老人看護統合実習	正木 治恵・他
精神・地域看護活動展開実習	石丸 美奈・他
エンド・オブ・ライフケア看護実践論	石橋 みゆき・他
老人看護実践論	黒田 久美子
精神看護学概論	野崎 章子・他
精神・地域看護コア実習	石丸 美奈・他
精神看護統合実習	野崎 章子・他

コミュニティ再生ケア学

6単位

専門教育の指定科目には、すべての学生が履修できる全学共通科目と、所属学部の学生のみが履修できる所属学部生限定科目があります。科目ごとに履修条件等がそれぞれ異なりますので、履修の際は注意してください。6単位までが履修要件の単位として認定されます。専門教育科目については、すべての科目が「地方創生コース」の指定科目です。

● 全学共通科目

すべての学部の学生が履修できる科目です。ただし、受け入れ人数など条件がある場合があるので、各学部のシラバスなどを確認し、必要に応じて担当教員に相談してください。

文学部

授業科目	担当教員
アイヌ文化論a	中川 裕
アイヌ文化論b	中川 裕
ユーラシア言語文化論演習b	児玉 香菜子
人文科学の課題:先端研究の成果を知るd	趙 景達・他
人文学地域フィールドワークb	久保 勇
現代社会で働くことb	米村 千代・他
社会学基礎	専修全教員
人文科学の課題:地域を知るb	久保 勇
環境社会学a	米村 千代
環境社会学b	米村 千代
人文科学の課題:地域を知るc	中川 裕・他

教育学部

授業科目	担当教員
公衆衛生学	高橋 浩之
ディベート教育論	藤川 大祐・他
ライフコースと生活福祉	久保 桂子
現代社会と家族	久保 桂子
人文地理学概論	梅田 克樹
地誌学概論	梅田 克樹
授業実践開発演習II (キャリア教育演習)	藤川 大祐
横断型授業づくり入門	藤川 大祐

理学部

授業科目	担当教員
堆積学実験 I	伊藤 慎
地殻構造学野外実験 I	金川 久一・他
堆積学実験 II	伊藤 慎
地形学 I	金田 平太郎
地形学 II	宮内 崇裕

工学部

授業科目	担当教員
都市環境プロデュース	郭 東潤
都市居住計画	森永 良丙
都市開発	村木 美貴
建築計画 I	小林 秀樹
国土・交通計画	丸山 喜久
環境ビジネス	木村 諭史
都市空間計画	丁 志映
建築計画 II	大川 信行
デザイン文化論	植田 憲
デザイン文化計画演習	植田 憲
地域環境計画	梅本 舞子

園芸学部

授業科目	担当教員
地域再生計画学	齋藤 雪彦
GIS利用論	加藤 顕
環境ガバナンス論	秋田 典子
都市計画学	木下 勇
都市緑地学	池邊 このみ
都市緑地計画学	池邊 このみ
緑の環境を育む	緑地環境学科教員
緑地環境学概論	本條 毅
緑地福祉学	岩崎 寛
公園デザイン学	木下 剛

薬学部

授業科目	担当教員
薬剤師と地域医療	佐藤 信範・他

● 所属学部生限定科目

所属学部の学生のみが履修できる科目です。

国際教養学部

授業科目	担当教員
総合科学コミュニケーション演習	三野 弘文・他
プレゼンテーションメソッド	吉野 文
地域PBL型実習 I	谷藤 千香
人文社会科学基礎	泉 利明
生命科学基礎	山口 智志
質的調査法 II	福田 友子
量的調査法 II	白川 優治
フィールド・スタディ II	高垣 美智子・他
地域PBL型実習 II	鈴木 雅之
都市住環境論	鈴木 雅之
地域環境論	高垣 美智子
環境変動と自然災害	吉田 修二
クールジャパン論	池田 忍・他
日本の食文化	和田 健
ポピュラーカルチャー論	石井 正人
地方創生論	清水 洋行
地方創生マネジメント	鈴木 雅之
現代家族論	米村 千代
千葉学	見城 悌治
経済政策と科学技術	神里 達博
ビッグサイエンス	河合 秀幸
地域医療	山口 智志
健康科学論	小泉 佳右
サイエンスコミュニケーション論	永瀬 彩子
サイエンスカフェ	三野 弘文
地域PBL型実習III	福田 友子
持続的地域貢献活動実習 I	白川 優治・他
被災地支援論	宮﨑 美砂子
NGO・NPO論	佐々木 綾子
地域社会とスポーツ振興	谷藤 千香
千葉資源開発	和田 健
スポーツによる地域連携論	小泉 佳右
環境とくらし	永瀬 彩子

授業科目	担当教員
地域PBL型実習IV	永瀬 彩子
防災・減災社会構築論	上野 武
人口減の社会論	白川 優治
高齢化と医療	山口 智志

法政経学部

授業科目	担当教員
政治政策演習(ヨーロッパ政治演習 I)	水島 治郎
政治政策演習(ヨーロッパ政治演習 II)	水島 治郎
政治政策演習(ヨーロッパ政治演習III)	水島 治郎
政治政策演習(ヨーロッパ政治演習IV)	水島 治郎

理学部

授業科目	担当教員
地質学野外実験 I	伊藤 慎・他
地史古生物学実験 I	亀尾 浩司
地質学野外実験 II	金川 久一・他

工学部

授業科目	担当教員
都市地域デザイン I	松浦 健治郎
都市地域デザイン II	松浦 健治郎
建築の保全と再生	頴原 澄子・他
都市環境デザイン	未定

園芸学部

授業科目	担当教員
インターンシップ I	丸尾 達・他
インターンシップ II	丸尾 達・他
インターンシップIII	丸尾 達・他
インターンシップIV	丸尾 達・他
インターンシップ I	天知 誠吾
インターンシップ II	天知 誠吾

授業科目	担当教員
インターンシップIII	天知 誠吾
インターンシップIV	天知 誠吾
インターンシップ I	三島 孔明・他
インターンシップ II	三島 孔明・他
インターンシップIII	三島 孔明・他
インターンシップIV	三島 孔明・他
インターンシップ I	食料資源経済学科教員
インターンシップ II	食料資源経済学科教員
インターンシップIII	食料資源経済学科教員
インターンシップIV	食料資源経済学科教員

医学部

授業科目	担当教員
衛生学	諏訪園 靖
公衆衛生学	尾内 善広
医療情報経済学	鈴木 隆弘
地域医療実習(公衆衛生学実習)	尾内 善広

看護学部

授業科目	担当教員
地域看護学概論	石丸 美奈・他
精神看護学概論	野﨑 章子・他
訪問看護学概論	諏訪 さゆり・他
地域看護方法	石丸 美奈・他
災害と地域看護活動	石丸 美奈・他
看護基本技術IV(地区活動)	石丸 美奈・他
訪問看護実習	諏訪 さゆり・他
精神・地域看護コア実習	石丸 美奈・他
地域看護統合実習	石丸 美奈・他
精神看護統合実習	野﨑 章子・他
社会資源と看護マネジメント	諏訪 さゆり・他
エンド・オブ・ライフケア看護実践論	石橋 みゆき・他
訪問看護統合実習	諏訪 さゆり・他

他大学指定科目

敬愛大学指定科目の履修方法

千葉大学は、神田外語大学・敬愛大学・城西国際大学との間で「千葉圏域コンソーシアム」を形成し、単位互換協定書を取り交わしています。各大学の開放科目について、「特別聴講学生」となって単位を取得すれば、普遍教育科目等の単位として認定されます。
敬愛大学が開講する科目のうち、指定された科目において地域産業イノベーション学、コミュニティ再生ケア学のそれぞれの取得要件表に定められた科目区分に属する科目として単位が認められます。履修希望者は、国際教養学部普遍教育窓口（総合校舎1号館1階）にて手続きを行ってください。

出願期間のめやす	前期：前年度の3月頃 後期：8月下旬～9月頃
対象学生	前期：2～4年次学生（受付時1～3年次） 後期：1～3年次学生
授業料等	検定料・入学料・授業料は徴収されません。 教材などが必要な場合は各自で負担してください。
その他	各科目の詳しい内容は、敬愛大学ホームページよりシラバスを確認してください。

▶ 2019年度対象の科目はガイダンスまたはWEBサイトで確認してください。

放送大学指定科目の履修方法

千葉大学は、放送大学との間で「千葉大学と放送大学との間における単位互換に関する協定書」を取り交わしています。この協定書及び同協定書の「覚書」に基づき、本学の指定した科目について、放送大学の「特別聴講学生」となって単位を修得すれば、放送大学での成績によって普遍教育科目等として評価されます。放送大学の講義は、自宅テレビ、ウェブにて学ぶシステムです。
指定された科目において地域産業イノベーション学、コミュニティ再生ケア学のそれぞれの取得要件表に定められた科目区分に属する科目として単位が認められます。履修希望者は、国際教養学部普遍教育窓口（総合校舎1号館1階）にて手続きを行ってください。

履修期間	第1学期（前期）：4月～9月 第2学期（後期）：10月～翌年3月
特別聴講学生の出願についての掲示	第1学期（前期）：前年度の1月頃 第2学期（後期）：当該年度の7月頃
対象学生	第1学期（前期）：2～4年次学生（受付時1～3年次） 第2学期（後期）：1～3年次学生
授業料	11,000円／1科目

▶ 2019年度対象の科目はガイダンスまたはWEBサイトで確認してください。

敬愛大学「エアポートNARITA地域産業学」

エアポートNARITA地域産業学

「エアポートNARITA地域産業学」は、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の一環として開講された敬愛大学の副専攻プログラムです。学生の主専攻である学部での専門性を持ちながら、観光・物流・サービス等に関する幅広い教養と知識・汎用的なスキルを備え、成田国際空港に関連するビジネスで活躍できる人材を育成します。千葉大学の学生も「副専攻聴講生」として、敬愛大学で開講される授業を聴講し所定の単位を取得することで、敬愛大学の発行する履修証明書を取得できます。
受講希望者は所定の「エアポートNARITA地域産業学」副専攻聴講生出願票に必要事項を記載して、千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィスに提出してください。

申込期間	前期：2019年3月～4月上旬頃 後期：2019年7月頃
提出先	千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス（26ページ） 受付時間：平日9:00～15:00（12:00～13:00を除く）
履修の可否	一部の授業には人数制限があります。 副専攻ならびに授業の履修の可否は、コミュニティ・イノベーションオフィスから各自へ連絡します。
開講科目	コミュニティ・イノベーションオフィスで配布する出願票に添付します。
授業料	無料（但し、授業で必要な教科書・教材等は各自負担）
施設利用	聴講生は敬愛大学のメディアセンターなどが利用できます。
注意点	千葉大学との単位互換はありません。21ページに記載されている指定科目の単位認定制度とは異なるので注意してください。 また、履修者数に上限があります（毎年度新規登録者数5名迄）。
問い合わせ	「エアポートNARITA地域産業学」の募集要項および出願票は、26ページに記載の千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィスで配布します。また、26ページに記載の履修相談会にて質問を受付けます。

履修方法・学び方

地域産業イノベーション学

■履修モデル

1 [バランス型] 地域産業に関する科目をバランスよく学ぶ履修モデル

推奨モデル

地域と暮らし	地域づくりを学ぶ	千葉を知る	産業イノベーションを考える	スキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	6	3	6	4	6	4	30

2 [理論型] 地域産業に関する内容をより理論的・体系的に学ぶ履修モデル

地域と暮らし	地域づくりを学ぶ	千葉を知る	産業イノベーションを考える	スキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	8	3	6	4	4	4	30

3 [体験型] 地域産業のことを体験的・実践的に学ぶ履修モデル

地域と暮らし	地域づくりを学ぶ	千葉を知る	産業イノベーションを考える	スキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	4	3	6	4	8	4	30

4 [他学部専門科目型] 地域産業に関する専門科目が少ない学部の履修モデル

地域と暮らし	地域づくりを学ぶ	千葉を知る	産業イノベーションを考える	スキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	4	2	6	3	4	10	30

コミュニティ再生ケア学

■履修モデル

1 [バランス型] 地域に関する科目をバランス良く学ぶ履修モデル

推奨モデル

地域と暮らし	地域(再生)の基礎を学ぶ	地域(再生)に関する多様な分野を学ぶ	地域(再生)に資するスキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	4	4	4	4	6	23

2 [理論型] 地域に関する内容をより理論的・体系的に学ぶ履修モデル

地域と暮らし	地域(再生)の基礎を学ぶ	地域(再生)に関する多様な分野を学ぶ	地域(再生)に資するスキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	8	4	2	2	6	23

3 [体験型] 地域のことを体験的・実践的に学ぶ履修モデル

地域と暮らし	地域(再生)の基礎を学ぶ	地域(再生)に関する多様な分野を学ぶ	地域(再生)に資するスキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	4	4	2	6	6	23

4 [他学部専門科目型] 地域のことを体験的・実践的に学ぶ履修モデル

地域と暮らし	地域(再生)の基礎を学ぶ	地域(再生)に関する多様な分野を学ぶ	地域(再生)に資するスキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	4	4	4	4	6	23

Voice プログラム修了者の声

2017年度卒業　法政経学部　田畑 凛子

なぜ、コミュニティ再生ケア学を履修したのですか？
地域を元気にしたいと思ったからです。また、PBL型の授業で実践的な学習ができると思いました。

どのように履修計画を立てましたか？
履修見込を取得するために、3年生が終わるまでに単位を取ろうと考えました。

特に印象に残った科目は何ですか？
いままで千葉地方圏に関心はなかったのですが、「千葉の地域を知る」の授業を受けて、千葉県の様々な魅力を知ることができました。

履修生に向けたメッセージ
ワークショップ型の授業が多く、他の人の意見を聞くことによる学びが多くあります。実践型の授業にも積極的に出ることで、地域のために活かせるスキルを付けることができると思います。

2017年度卒業　工学部　根本 卓也

なぜ、コミュニティ再生ケア学を履修したのですか？
地域を元気にしたいと思ったからです。就職にも役立つと考えました。

どのように履修計画を立てましたか？
工学部の年間単位取得上限50に抵触しないように、適宜学科の専門科目を聴講に切り替えることもしました。

特に印象に残った科目は何ですか？
「カレッジリンク」では様々な専門性を持つ社会人の方と接点を持つ機会を得ました。現在の自分の人間関係に活きています。

履修生に向けたメッセージ
面白い活動をしている学生がたくさんいるので、ぜひ学生間で積極的に情報交換をしてください。

Q&A

Q1 **履修開始方法を教えてください。特別な申込みが必要ですか。**

A はい。事前登録が必要です。
詳しくは7ページの履修方法をご覧ください。

Q2 **履修登録は、どの学年からも可能ですか。**

A はい。但し、指定科目により対象年次が決まっているものもあるので、シラバスで確認してください。なお、大学院生は履修登録の対象としていません。

Q3 **現在、学部4年生です。1年間で取得要件を満たすことはできますか。**

A 地域産業イノベーション学、コミュニティ再生ケア学それぞれについて取得要件を満たす単位数を取得していれば可能です。

Q4 **所属している学部の卒業要件に入らない単位であっても、地域産業イノベーション学、コミュニティ再生ケア学の単位として認めてくれますか。**

A はい。地域産業イノベーション学、コミュニティ再生ケア学のそれぞれの指定科目であれば認めます。

Q5 **修了証書(地域産業イノベーション学)／履修証明書(コミュニティ再生ケア学)はいつ授与されますか。**

A 卒業時に授与されます。詳しくは7ページをご覧ください。但し、3年次終了時までに必要な単位数を取得していれば、取得見込証明書を発行します。

Q6 **指定された期間に修了証書／履修証明書の取得申請・登録」を忘れてしまいました。どうすればよいでしょうか。**

A 原則として事前に申請・登録をしていない場合は、各種証書を発行できません。コミュニティ・イノベーションオフィスにお問合せください。

Q7 **千葉大学Moodleにて履修登録しましたが、諸事情により履修を取り消したいと思っています。**

A 各Moodleページから登録を外すことで可能です。

Q8 **修了証書／履修証明書は要りませんが、地域産業イノベーション学、コミュニティ再生ケア学の指定科目を受講したいのですが、可能ですか。**

A はい。但し、受け入れ制限がある科目もあるので、担当教員に確認してください。

Q9 **地域産業イノベーション学、コミュニティ再生ケア学の科目種別ごとの必要単位数を超えて、指定科目を受講できますか。**

A はい。但し、科目種別ごとの必要単位数の上限を超えて単位認定はされません。

オフィス案内(アクセス)

千葉大学
コミュニティ・イノベーションオフィス

〒263-8522
千葉市稲毛区弥生町1-33　R10 学際研究棟1F
TEL：043-290-2912　FAX：043-290-2148
E-mail ：coc-p@chiba-u.jp

千葉大学 サテライトキャンパス美浜(はまのわ)

〒261-0003
千葉市美浜区高浜3-3-1 はまのわ3F

横芝光町ローカルハブ

〒289-1793
千葉県山武郡横芝光町宮川11902番地
(横芝光町役場敷地内)
TEL：0479-85-5260　FAX：0479-85-5261

いすみ市ローカルハブ

〒298-8501
千葉県いすみ市大原7400-1 (いすみ市役所内)

勝浦市ローカルハブ

〒299-5292
千葉県勝浦市新官1343-1 (勝浦市役所内)

長柄町ローカルハブ

〒297-0201
千葉県長生郡長柄町上野521-4 (リソル生命の森内)

もっと知りたい・分かりたい人はガイダンスへ！

「地域産業イノベーション学」「コミュニティ再生ケア学」

履修ガイダンス

日時：2019年4月8日／ 12:10〜12:40
場所：アカデミック・リンク・センター

日時：2019年4月9〜12日／ 12:10〜12:40
場所：総合校舎G4-54

「地域産業イノベーション学」「コミュニティ再生ケア学」

履修相談会 ※個別相談に乗ります

日時：2019年4月8〜12日／ 13:00〜17:00
場所：コミュニティ・イノベーションオフィス

「地域活動体験・地域志向型インターンシップ」

合同履修ガイダンス

日時：2019年4月16〜18日 12:10〜12:40
場所：総合校舎G4-54

「カレッジリンク」「ローカル・プロジェクト実習」

合同履修ガイダンス

日時：2019年4月23〜25日 12:10〜12:40
場所：総合校舎G4-54

http://cocp.chiba-u.jp/
詳しい日程と開催場所についてはWEBサイトで確認してください。

CHIBA
UNIVERSITY

文部科学省
地(知)の拠点

全学共通教育プログラム
地域産業イノベーション学／コミュニティ再生ケア学　手引き2019

発行
千葉大学 コミュニティ・イノベーションオフィス
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学 学際研究棟1階
TEL:043-290-2912　E-mail:coc-p@chiba-u.jp

http://cocp.chiba-u.jp/

https://ja-jp.facebook.com/cocpluschiba/

最新情報はWEBサイトで確認してください